

---

# 合わせ鏡

夕焼け

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

合わせ鏡

### 【Nコード】

N5362N

### 【作者名】

夕焼け

### 【あらすじ】

我々は鏡である。他者の像を映し出す事が出来る。しかしいくら自身をピカピカに磨いても、そこに自身の姿は映らない。自身の姿に想いを馳せる時、他者と合わせ鏡のように向き合う必要があるのだ。

人は、鏡や水面のような「像を反射して映し出すもの」を駆使しない限り、自分の姿かたちを知る事が出来ない。

独力で、自分の能力をどれだけ高めてみたところで「像を反射し、映し出すもの」がなければ、自分の顔を知る事も出来ない。

姿ならまだいい。

この現実世界には鏡つてもものがある。  
100円シヨップでも売ってる。

簡単に、自分の姿を見る事が出来る。

問題は内面だ。

鏡に映らない部分。

これもやっぱり、自分ひとりの力で正しく把握する事は不可能であるように思う。

俺はいつも、他者と関わり合う中で、自分を見つけてきた。

今も、悩んで苦しんでる青年と頻繁なやり取りをしてるんだけど、そのやり取りの中で発見する事がとても多くある。

きつと、自分ひとりの頭の中でいくら考えても出てこなかったよう

な類の言葉が、対話の中ではポロポロと出てくる。

俺は、この青年を納得させたくて対話をしてるんじゃないんだと思う。

この青年を通して「遠い昔に納得したつもりになって、今でもそのつもりでいるけど、でも本当に心の奥深くまで正しく納得は出来ない事柄」に納得をつけたくて、俺は考えを巡らせてるんだと思う。

失ったものがある。

何年もかけて、自分なりに頭を必死でフル回転させて、ようやく納得のいく結末を得た。

と、思い込んでいた。

でも、本当の心の奥底では、納得できていない、許せていない事があった。

でも「納得できない自分」に、絶対的な歪みがあるっていう自覚があった。

だから納得しようとした。

でも、歪みは正されなのまま残った。

その自身の歪みが、青年との対話の中で見えてきて、その解法とまではないかなくても、取っ掛かり程度を発見するに至った。

この青年と対話する中で、この青年は俺に対して切実に訴えかけてくる中、俺は自分の問題の解決を図るためにこの青年との対話を利用するような形になっていて、本当に申し訳ないと思う。

それでも、確かに船は少しずつ押し進んでる事は確かで、だから俺はやっぱり思う。

合わせ鏡は必要だ、と。

心を映す鏡は、100円ショップじゃ売ってない。  
どこにも売ってない。

だから、人と向き合う事をする。  
自身を知るために。

相手の瞳に映った自分の像、その線をなぞる。  
あるいは相手の輪郭をなぞった際に、自身と重なる部分を発見する。

どんな形であれ俺の正面に立ってくれた人、どんな最悪の形で去ったのであれ、一時でも俺と相対して向き合ってくれた人、それに俺は心から感謝をしたい。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5362n/>

---

合わせ鏡

2010年10月9日05時53分発行